

## 無線 LAN が遅い時、最初に試したい 6 つの対応

無線 LAN の速度は「ルータから端末までの距離」「ルータから端末間の壁の有無」など、さまざまな影響を受ける。無線 LAN が遅くなってきた時、要因により解決策は異なるが、Techlicious の記事「9 Tips For Faster Wi-Fi Streaming)」を参考に、簡単に試することができる対策を紹介しよう。

### ○再起動

PC と同じように、無線 LAN ルータも再起動で問題が解決することがある。「ルータと端末間の IP 接続」あるいは「ルータとインターネット間」に問題が発生しているために、速度が落ちていることがあるとのこと。無線 LAN ルータにリセットボタンがある場合は、数秒間押しせば再起動できる。リセットボタンがない場合は電源コードを抜いて、30 秒ほど待ってから再度電源を入れるとよいとのこと。

### ○コードレス端末との干渉を確認

コードレス電話、電子レンジ、無線スピーカーなどの多くは無線 LAN ルータと同じ 2.4GHz 帯を利用している。これらが無線 LAN ルータの通信を妨げている可能性がある。電波の干渉が考えられる場合、試しに無線 LAN ルータをこれらの家電製品から離れたところに設置してみよう。スピードがアップしたら、端末やルータの配置変更を検討したほうがよさそうだ。

### ○無線 LAN ルータを建物の中央に配置

無線 LAN ルータは出来る限り建物の中央に置いたほうがよい。家やオフィスが広い場合はなおさらだ。壁や窓の近くに置くのは望ましくない。

### ○チャンネルの混雑を解消

無線 LAN ルータの普及が進んでおり、近隣の建物から無線が飛んでいたとしてもおかしくない。周囲にある無線 LAN ネットワークからの干渉が、スピード劣化を招いている可能性がある。

無線 LAN ルータは通常、2.4GHz の周波数を利用するが、中にはデュアルバンド対応として 5GHz 帯を利用できるものもある。5GHz 帯は 2.4GHz 帯と比較するとまだ普及していないので、こちらに切り替えると速度がアップするかもしれない。

幸い、混雑しているチャンネルをチェックできるツールもある。例えば、Android アプリの「Wifi Analyzer」は、Android スマートフォンを利用して周囲の無線 LAN チャンネルの混雑具合を調べることができる。

### ○ISP 側をチェック

ユーザー数が多すぎてスピードに支障を来しているなど、問題が ISP 側にある可能性もある。インターネット接続をテストできる Web アプリケーション「Speedtest」などでテストしてみよう。下り、上り、Ping の通信状況などを測定してくれる。また、Ping テスト専用のツールなら「Pingtest」もある。

### ○無線 LAN 中継機の利用

建物の面積が広い場合は、無線 LAN 中継機が助っ人となるかもしれない。無線 LAN 中継機は文字どおり、中継により無線 LAN ルータのエリアを拡大してくれる。